



3年学年だより

発行日：令和2年6月30日（火）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

学校長：三浦 昌彦 NO. 2

学校生活が再開しました

うっとり梅雨空の中、紫陽花が美しく咲き誇り私達の目を楽しませてくれています。

今年度着任いたしました、副校長の藤森潤子です。ようやく6月1日に学校が再開することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。学校に生徒達の元気な姿が戻り、私ども教職員の喜びもひとしおです！



第一期と名付けた1日からの分散登校初日。生徒の皆さんだけでなく先生達や保護者の皆様も経験したことのない“緊急事態”が明けての学校再開は、誰もが緊張し手探りでスタートでした。全員マスク姿で昇降口にて手指の消毒をし、教室内では感染防止のために市松模様で着席です。話をして良いのかどうかも気を遣い、附属中とは思えないシーンとした教室に、先生達の方がドギマギしていたかもしれません。それでも先生や友達との出会いと、今年度初めての授業に目をキラキラさせている生徒の皆さんのようすを嬉しく思いました。

第二期の15日からは時差通学を続けながらクラス全員での生活が始まりました。この頃にはクラスの仲も温まり、教室からは笑い声が響き始めました。上手に互いを思いやりながら、学活や生徒会活動を元気に推進していく生徒の皆さんの逞しい姿に、先生達の方が勇気を与えられた気持ちです。

EGGでは、「世界を幸せにする第一歩」という大テーマで学習が始まりました。今年、皆さんは何を自分のテーマに選ぶのでしょうか？

附属中の教育理念は、～知性・自主自立・創造～。さあ生徒の皆さん、安心・安全な新しい附属中学校の生活を、共に創っていきましょう！

学校再開後の生徒の様子と、学校の対応

6月1日より分散登校という形から再開となり、6月後半からは一斉登校となりました。生徒たちの中には「早く友達に会いたい」「学校に行きたい」と再開を心待ちにしていた生徒も多かったのではないかと思います。しかし3か月という長きにわたる臨時休業からやっと学校が再開されたのは、梅雨の季節に入ろうかというムシムシと暑く、熱中症も心配される頃からでした。あまりにも長かった休業期間で、体力も多少衰えたとい生徒がいましたが、久しぶりに40人のクラスでの授業に疲れ、中には気分が悪くなる生徒もいました。

保護者の皆様にも毎日ご協力いただいておりますが、学校でも生徒の「健康観察」を重視し、登校中の生徒の様子と体温測定を忘れた生徒への検温を、毎日職員が“くすの木広場”で行っております。また生徒が使用する教室や学校施設は全て、全職員で毎日消毒作業を行っております。

生徒たちは手洗いや消毒、マスクの着用、換気、ゴミの持ち帰り等、自分たちができる感染予防対策に取り組んでおり、一人ひとりの意識の高さには本当に感心させられます。

いつかこれまでと同様の日常は戻ってきます。その日まで、今私たちにできることを前向きに取り組んでいきたいと思います。

養護教諭 山崎涼子

学校再開～新しい日常のスタート～

誰しもが経験したことの無い、3か月におよぶ休業期間が終わり、学校に活気が戻ってきました。もちろん、さまざまな制約はありますが、みんなで学校生活を送れることそのものに感謝をし、楽しさを見つけようと前向きに取り組んでいます。今の私たちの行動の一つ一つが将来に繋がっています。出来ることを誠実にやってみよう。

2週間の分散登校を終えての感想と、これからの学校生活への意気込みを書いてもらいました。

1組

全員揃って過ごしてみて、良いクラスになりそうだなあと感じています。授業中もうるさくなり過ぎることがなく、やはり1、2年生のときと比べて全員が少しずつ大人に近づいているのかなと思いました。いろんな人がいるからバランスの取れた楽しいクラスができるのだと思います。義務教育も最後の年なので、勉強面だけでなく、人として成長したいです。中学校最後がこのクラスでよかったと思えるように日々を楽しみたいです。



【昼食は前を向いて。担任の先生が準備してくださったDVD鑑賞も楽しい。】

1組

今年はゲームと勉強の両立、そして生活委員の仕事をしっかりやりたいです。生活していて、自分はまだまだ甘いと感じることが多いので、少しでも将来に繋がることを、この一年でやっていきたいです。この気持ちを忘れずに一年間過ごしたいです。

2組

久しぶりの学校でちょっと緊張していたけれど、ちょうど慣れてきたところで合同になって嬉しかった。40人だと安定感があって安心する。中学校生活最後の年がこんなスタートで残念だったが、みんなで過ごせなかった約3ヶ月をカバーできるくらい、残りの時間を大切に、思い切り楽しんでいきたい。今日、数時間過ごしただけでも楽しかったので、いい一年になりそうな予感がする！！

2組

2週間のリハビリ期間を終えて、人とかかわる楽しさを思い出すことが出来ました。数ヶ月の間、家族以外と顔を合わせて話すことがあまり無かった日々から、久しぶりの友達と顔を見ながら話せる生活が始まって、本当に良かったと思います。



【南高図書館や食堂もソーシャルディスタンス】

3組

学校は大事だなと改めて感じた。友達や先生と話すのは楽しいし、家族以外の人たちと繋がると笑うことも増えた。始まるまでは結構不安だったけれど、意外と普通に過ごせているからちょっと安心した。15日以降は40人集まるけれど、新学期の新しい気持ちで頑張りたい。

3組

休校中も、決めた時間に起きる努力はしていたが、学校がある生活と無い生活では全然違った。学校再開後も20人は少し寂しかったので、40人の3年3組になるのが楽しみ。また、6・7時間授業も始まるので、しっかりとペースを整え、学習できるようにしていきたい。

4組

2週間の期間は新しいクラスなのに人が半分居なくてやっぱり寂しい雰囲気があった。しかしこの期間を通して、休校前みんなで過ごしていた毎日がどれだけ大切だったか分かった。だからこそ、これからは1日1日を大切に、中身の濃いものにする必要があると思ったし、休校中いろいろできなかった分、これからメリハリをもって集中して物事に取り組んでいきたいと思った。行事がなくなったり、昼食中話せなったりなど、制限があるけれど、その中でできるだけ楽しく過ごせるように頑張りたい！

4組

新しいことづくめだった2週間、少し不便なこともありました。何とか無事に過ごせたと思います。15日に、40人全員が揃うのが楽しみです。このイレギュラーな状態を、みんなでプラスに変えて、少し短くなってしまった中学最後の一年間を、通常の一年間と同じか、それ以上のものにしていきたいです。それから自分自身も、これを機に生活習慣をより良くしていきたいと思います。



姫のひとりごと

合唱コンクールが中止になったり、その他の行事も変更を余儀なくされている今年度ですが、みなさんは、文句や愚痴も言わず、今、みんなで過ごせることを前向きにとらえて、明るく過ごしています。その真摯な姿に改めて感心しています。いつか振り返ったときに、みんなで頑張った日々が大切な思い出になっていることでしょう。

お知らせ カナダ研修旅行の日程が確定しました。

令和3年3月3日（水）～3月8日（月）です。説明会等の予定は、またご連絡いたします。

※実施に関しては、生徒のみなさんの安全を考え、実施の有無も含めて今後も検討してまいります。